

# イノシシの被害防止対策は地域ぐるみで!!



## 被害防止対策3つのポイント



### ①近づけない

畑に不要な果物や野菜を放置しない。(イノシシのえさ場を作らない)  
イノシシの隠れ場所となるヤブの刈り払いを行うなど環境を整備する。  
耕作放棄地を適切に管理し、イノシシの生息適地を集落近くに作らない。(イノシシを山に留めておく)

### ②侵入させない

侵入防止柵(トタン・金網・電気柵)を設置して集落や農地に入らせない。  
侵入防止柵を設置する場合には、十分な高さを確保するとともに、隙間ができないよう、しっかりと地面に埋め込む。

### ③捕獲する

捕獲は、わなや銃により行う。  
イノシシを捕獲するには、狩猟免許が必要となる。  
近隣の集落・隣接市町村などとの広域的な連携による一斉捕獲が効果的である。  
捕獲にあたっては鳥獣保護法等関係法令を遵守する。



### —有害鳥獣捕獲を実施—

5月10日から10月15日まで、市内全域で有害鳥獣捕獲を実施しました。捕獲結果は右記のとおりです。

種類 \ 地域	大宮	山方	美和	緒川	御前山	合計
イノシシ	57	78	37	37	28	237
ハクビシン	0	9	0	0	2	11
カラス	29	15	0	2	4	50
カルガモ	10	13	0	1	10	34
タヌキ	0	1	0	1	7	9
カワウ	6	6	0	0	0	12

## イノシシ対策の講演会を開催しました

12月6日、おおみやコミュニティセンターで、イノシシの農作物被害を減らすため、市民を対象とした講演会を開催し、86人が参加しました。

講師は、獣害対策サポーターで自らも猟銃を手にするという柏木末紀氏を迎え、イノシシの生態や被害対策のための基礎知識などについて学びました。また、被害対策に正解はなく、その地域の実情に合った対策を地域ぐるみで行うことが大切であると話がありました。



▲スライドを使って分かりやすく説明

\*この被害防止講演会は、2月21日(山方地域)、3月13日(緒川地域)にも開催する予定です。